

『消化管ホルモン研究から2型糖尿病治療の臨床応用へ
—GLP-1、GIPの研究成果より—』

本シンポジウムでは、GLP-1研究の第一人者をお招きし、GLP-1
およびGIPの基礎研究および臨床研究からの知見とGLP-1・GIPの
生理的作用を考慮したGLP-1受容体作動薬の適正使用方法を解説
する



**第53回日本糖尿病学会年次学術集会
イブニングセミナー ES02**

**消化管ホルモン研究から
2型糖尿病治療の臨床応用へ
—GLP-1, GIPの研究成果より—**

座長 神戸大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌内科学、細胞分子医学 教授 **清野 進** 先生

講演1 **Mechanisms of incretin action-insights
from preclinical studies**
Dr. Daniel J. Drucker
Director, Banting and Best Diabetes Centre, University of Toronto

講演2 **Clinical research findings of GLP-1 and
GIP-clues as to the clinical application**
Dr. Jens J. Holst
Professor, Medical Physiology, University of Copenhagen

【日時】 2010年5月27日(木) 19:00-20:00

【会場】 ホテルグランヴィア岡山 3F「クリスタル」(第3会場)
〒700-8515 岡山県岡山市駅元町1-5

本セミナーは予約制です。予約をお済の方から優先的にご入場いただけます。
詳細は当日会場にてご確認ください。

共催
第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

